

事務事業マネジメントシート(兼 事務事業コスト計算書)

Header information table including project name (人権啓発・普及事業), policy name (2ひとが生きる、暮らす), strategy name (施策14 平和と人権の尊重), and budget items.

事務事業の概要(事業開始の経過、事業の具体的な手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
1.多摩東人権擁護委員協議会参画
多摩東人権擁護委員協議会は、東京法務局府中支局管内の13市の人権擁護委員による組織。協議会は基本的人権を擁護し、自由人権思想の普及高揚に努め、人権が尊重される社会の実現に貢献することを目的とする。

1 現状把握の部(PLAN)(DO)
(1)事務事業の目的と指標
手段(主な活動)
平成25年度の実績(平成25年度に行った主な活動)
人権擁護委員活動への協力、連絡調整
人権意識普及セミナー1回の企画(荒天によりイベントが中止となり、実施はできなかった。)

Table with 10 columns: Name, Unit, Heisei 22, Heisei 23, Heisei 24, Heisei 25, Heisei 26, Target Year, Difference. Rows include activity indicators like 'Seminar number of times' and 'Population'.

Table with 10 columns: Name, Unit, Heisei 22, Heisei 23, Heisei 24, Heisei 25, Heisei 26, Target Year, Difference. Rows include cost indicators like 'Regular staff number', 'Personnel costs', and 'Total expenditure'.

2 評価の部(CHECK) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価
公共関与の妥当性
見直し余地がある【以下に理由を記入】 3 改革・改善方向の部に反映
妥当である【以下に理由を記入】

成果の向上余地
向上余地がある【以下に理由を記入】 3 改革・改善方向の部に反映
向上余地がない【以下に理由を記入】
国立市独自の人権啓発・擁護活動はセミナーにとどまっておらず、他市の事例を研究し、さらに実施していく余地がある

廃止・休止の成果への影響
影響無【以下に理由を記入】 3 改革・改善方向の部に反映
影響有【その内容】
廃止した場合、人権意識の啓発を行うことができなくなってしまう、市民の人権意識が後退してしまう恐れがある。

類似事業との統廃合・連携の可能性
他に手段がある(具体的な手段、事務事業) 3 改革・改善方向の部に反映
統廃合・連携ができる【以下に理由を記入】
統廃合・連携ができない【以下に理由を記入】

事業費の削減余地・歳入の確保
事業費削減(歳入確保)余地がある【以下に理由を記入】 3 改革・改善方向の部に反映
事業費削減(歳入確保)余地がない【以下に理由を記入】

人件費(延べ業務時間)の削減余地
削減余地がある【以下に理由を記入】 3 改革・改善方向の部に反映
削減余地がない【以下に理由を記入】

受益機会・費用負担の適正化余地
見直し余地がある【以下に理由を記入】 3 改革・改善方向の部に反映
公平・公正である【以下に理由を記入】

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)
(1)1次評価者としての評価結果
公共関与と妥当性 [x]適切 []見直し余地あり
有効性 []適切 [x]見直し余地あり

(3)今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可
[]廃止 []休止 []事業統廃合・連携 [x]事業のやり方改善(有効性改善)
[x]事業のやり方改善(効率性改善) []事業のやり方改善(公平性改善)

(5)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
H26も、事業担当が移管となり、職員に課題があることが見込まれる。一方で「男女平等・人権・平和担当」を「市長室」においたことで、さらなる広報との連携や、専念による新たな事業展開を生み出せる可能性がある。

(6)上記(3)で現状維持をチェックした場合、この事務事業はどのような状態となれば見直し・廃止となりますか?
削減 維持 増加
向上 維持 低下

事務事業マネジメントシート(兼 事務事業コスト計算書)

事務事業名: 平和意識醸成事業
政策名: 2 ひとが生きる、暮らす
施策名: 14 施策14 平和と人権の尊重
予算科目: 01201080104700
事業期間: 単年度のみ

事務事業の概要(事業開始の経過、事業の具体的な手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)
平和都市宣言を具体化するため、戦争体験を聞くつどいや戦争体験集作成、戦跡ツアーなどのイベントを実施する。また、原爆の日について多くの人に考えてもらうため、市と実行委員会の共催で原爆展を実施する。

1 現状把握の部(PLAN)(DO)
(1)事務事業の目的と指標
手段(主な活動)
平成25年度の実績(平成25年度に行った主な活動)
アンネのバラの管理と苗木配布、追加植樹の実施、原爆展の開催及び作品集の作成・配布、戦争体験を聞くつどい、早春平和関連バスツアー、被爆体験映像記録事業の実施。

(2)各指標等の推移
Table with columns: 名称, 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Rows include: 活動指標(開催回数, 参加延べ人数), 対象指標(人口), 成果指標(参加して平和への理解が進んだと答えた参加者数), 上位成果指標(国立市平和都市宣言の認知率, 平和事業・イベントへの参加者率)

(3)事務事業コストの推移
Table with columns: 単位, 平成22年度(決算), 平成23年度(決算), 平成24年度(決算)(A), 平成25年度(決算見込み)(B), 平成26年度(当初予算), 目標年度(目標値), 差額(B)-(A)
Rows include: 人に係るコスト(正規職員従事人数, 延べ業務時間, 正規職員人件費計(C), 再任用職員従事人数, 再任用職員人件費計(D), 嘱託職員従事人数, 嘱託職員人件費計(E), 人に係るコスト計(F)), 物に係るコスト(物件費, うち委託料, 維持補修費, 物に係るコスト計(G)), 移転支出的なコスト(扶助費, 補助費等, 繰出金, 移転支出的なコスト計(H)), その他, 支出計(I)=(F)+(G)+(H), 収入内訳(国庫支出金, 都支出金, 分担金及び負担金, 使用料及び手数料, 繰入金, その他), 収入計(J), 収支差額(K)=(J)-(I), 一般財源投入割合

2 評価の部(CHECK) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価
公共関与の妥当性: 見直し余地がある [以下に理由を記入] 3 改革・改善方向の部に反映
成果の向上余地: 向上余地がある [以下に理由を記入] 3 改革・改善方向の部に反映
廃止・休止の成果への影響: 影響無 [以下に理由を記入] 3 改革・改善方向の部に反映
類似事業との統廃合・連携の可能性: 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) 3 改革・改善方向の部に反映
事務事業費の削減余地・歳入の確保: 事業費削減(歳入確保)余地がある [以下に理由を記入] 3 改革・改善方向の部に反映
効率性評価: 削減余地がある [以下に理由を記入] 3 改革・改善方向の部に反映
公平性評価: 見直し余地がある [以下に理由を記入] 3 改革・改善方向の部に反映

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(ACTION)
(1)1次評価者としての評価結果
公共関与と妥当性: 適切
有効性: 適切
効率性: 適切
公平性: 適切
(2)全体総括(振り返り、反省点)
原爆展については、直接的な経費がかからない形は継続したが、広報・宣伝にTwitter等も導入し強化したため、市民へのアピールが強く、応募者及び来場者の増加につながった。また、国立音楽大学附属中学校・高等学校の卒業生による「平和ミニコンサート」の開催、公民館での映画会の実施、郷土文化館での戦争資料の運動展示といった部署・組織を越えた連携が良い効果を生んでいる。今後、平和実現のために戦争による悲惨な体験を次世代に伝え残し、考えていくことを目的として教育機関との連携を図る必要がある。

(3)今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可
(4)改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)
Table with columns: 削減, 維持, 増加
Rows: 向上, 維持, 低下

(5)改革,改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
(6)上記(3)で現状維持をチェックした場合、この事務事業はどのような状態となれば見直し・廃止となりますか?